Kids Wave きっずうぇいぶ

第43号
2026年7月

社会福祉法人
大村子供の家

共感の力　～創設80周年を迎えて～

大村子供の家は1946年9月21日に戦争引揚孤児の保護を目的として創設、今年で80周年を迎えます。80年間子ども達や職員を支え、守ってきたもの、それは「共感」という力だったとしみじみ感じております。創設者の坂田眞瑛が、戦争引揚孤児を目の当たりにし、自身の不遇な幼少時代と重ね合わせたことから、子供の家誕生のきっかけが生まれました。また眞瑛の想いに共感した中尾エイ(初代施設長）や支援者が集まり、子ども達や地域、行政を巻き込んで共感の輪が広がっていきました。それが大村子供の家の原型です。現在もなお、大人が子ども達を理解し思いやる心、子ども達同士で育まれる助け合いの心が原動力となり、日々の大村子供の家の生活を支え、歴史を創り続けています。

このご時世、改めて感じるのはこの「共感力」の重要性です。共感力の欠如がもたらすもの、それは自分さえ良ければいい、といった利己的な考え方や、他者を攻撃・排除しようとする傲慢さです。最悪の場合、共感力の欠如は戦争にまで発展します。AI技術が進み、戦場でさえも感情のないドローンやロボットが人を殺め続けています。まるでテレビゲームのように画面上で人々をやつけていくのです。リアルがバーチャルになり、共感が薄れつつある昨今。改めて人間の持つ尊い能力の一つ、「共感力」を高めていかなければいけないと感じています。

大村子供の家は、創設時、戦争の最たる犠牲者、戦争孤児を守ることが目的で誕生したという歴史を、若い職員含めて、改めて職員研修等で学び直しているところです。これは未来に対する大切な教訓でもあります。創設当時を知る方々から直接お話をうかがう機会が限られていく中、創設80周年を機に、記録としてまとめ、後世に受け継いでいく準備を進めています。
9月29日に「共感の力」をテーマに大村市内で大村子供の家80周年記念式典を行います。皆様、是非ご参加ください。
皆様のご参加をお待ちしております。

子ヤギのネーミング投票

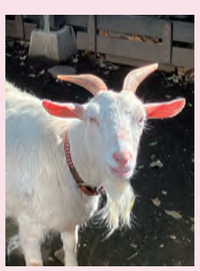
大村子供の家に新しい仲間が加わりました。大村ロータリークラブ様より、かわいい生後6か月のメスヤギをいただきました。子ども達がそれぞれ呼びたい名前で声をかけておりますが、そろそろ一つの名前で呼んであげようと思います。そこで、子ども達から挙がった下の名前から、多数決（投票）で決めたいと思いますので、各事業所に番号を書いて投票をお願いします。
（7月27日まで）

1．**めい**(ヤギの鳴き声にちなんで)
2．**オレオ**(白と茶色のブチがあるから)
3．**はな**(かわいいから)
4．**ポポ**(なんとなく)
5．**ジュン**(6月に来たから)
6．**じゅんこ**(6月に来たメスだから)

※一匹で寂しそうという声もあり、鳥むら食堂様のご厚意で、7月上旬にもう一匹メスの子ヤギをいただくことになりました。

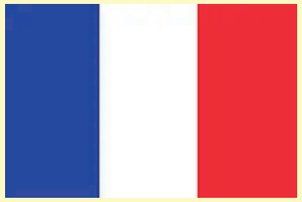
うめ旅立つ 8年間ありがとう

子供の家のセラピストとして約8年間我々を癒してくれた初代子供の家ヤギのうめは5月13日に誤嚥性肺炎の疑いで息を引き取りました。うめのためにヤギ小屋拡張工事をおこなっていた矢先の出来事で一同ショックを隠し切れませんが、晩年は体調不良の中、良く頑張ってくれていました。



うめから得た教訓は、次の世代に確実に活かしていきたいと思います。
うめさんたくさんの思い出をありがとう。
8年間お疲れ様でした。

ヒューマンストーリー＆世界の国からこんにちは
長崎のスーパーヒーロー ～ド･ロ神父(DE ROTZ Marc-Marie)～



フランスから来たド・ロ神父は、現存する日本最古の児童養護施設「浦上養育院(1874～)」の創設に大きく貢献している。1873年、禁教令が解除されるとド・ロ神父は長崎に戻り、祈祷書などを出版するとともに、流配から帰った浦上キリシタンの世話にあたる。翌年には長崎で赤痢や天然痘が流行し、医学知識のある神父は先頭に立って治療に出向いた。この時神父と働いた浦上の岩永マキらを看護師として育成し、「十字会（現在のお告げのマリア修道会）」の礎を築く。棄児の救済から、浦上養育院の原型（小部屋）が誕生。その他、パリ外国宣教会宣教師や修道会の支援を受けて、全国に先駆けて長崎や五島に孤児院が創設された。

ド・ロ神父の日本に対する貢献はこれだけではない。外海地区の貧しい潜伏キリシタンに対し、生活を共にしながらフランスで得た知識・技術を惜しみなく伝授している。例えば出津地区における日本初のマカロニ工場創設（のちにそうめん工場としてその技術は日本人に受け継がれていく）。織機による刺繍木綿地の販売、馬耕技術の伝授、家畜（シバヤギ等）の普及、原野を開墾して小麦やイチゴ、トマト、落花生、お茶（紅茶）などを生産。腸チフスが蔓延すると出津救助院や診療所、薬局を開いた。これがきっかけとなって日本人医師を雇い入れて育成すると、技術が評判を呼んで長崎市外からも患者が来るようになる。
土木・建築分野の貢献も著しい。石灰と砂と赤土を混ぜたツナギ材を考案し、地元の石「温石（おんじゃく）を使って壁をつくる工法を開発した。これは「ド・ロ壁」と呼ばれ、雨にも強いため外海一帯に普及し、現在も外海独特の景観を生み出している。数々の教会の設計や建設にも携わり、まさに当時の外海地区・長崎におけるスーパーヒーローであった。

外海の出津集落（世界文化遺産）

実はド・ロ神父、フランス貴族の血を引き、いわゆるエリート家庭で育った。先に日本で宣教活動をしていたプチジャン神父により、教理書などの発行のために印刷技術を持つ人材を求められ、活版印刷や石販印刷の技術のあるド・ロ神父が乞われて来日した。印刷技術だけでなく、医療、農業、建築、土木、福祉と多岐にわたる分野の知識を有し、時には私財を投じて、見知らぬ貧しい日本人のために奉仕。最期も教会建設中に足場から転落、その影響か持病が悪化し、長崎にて帰天された。骨を埋める覚悟で来日し、使命を全うされたド・ロ神父は、今で言うスーパーマルチタレントな人で、彼が伝えた知識技術は、我々の生活に今なお息づいている。

行事予定

7月･･･1日プール開き(ホーム)、4日保育参観(ランド)、7日七夕の集い(ホーム)、18日竹松ゆかた祭り
18日県内児童養護施設球技大会、20日子供の家案内会
8月･･･1日大村花火大会、2～3日おおむら夏越祭り、5日あぐりハウス慰問(ホーム)、デイキャンプ(上旬)、
20日夏祭り(ホーム)、23日子供の家案内会
9月･･･21日子供の家80周年記念食事会、29日子供の家80周年記念式典

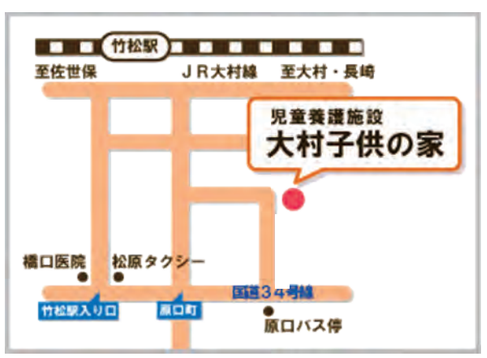
編集後記

今回からこの「きっずうぇいぶ」の編集が変わります。今後ともよろしくお願いいたします。

さて、いよいよ夏がやってきます。夏休みが始まり、川遊びやお祭り、花火大会など楽しいイベントが盛りだくさんの季節です。しかし、近年は暑さが厳しさを増しており、外での活動が難しい日も。熱中症対策を十分に行い、暑さを乗り越えていきたいと思います。

また、9月には大村子供の家の80周年式典を予定しています。無事に開催できるよう準備も着々と進めておりますので、ぜひご参加いただければ幸いです。M. M

大村子供の家 〒856-0811 長崎県大村市原口町591番地2
TEL 0957-55-8319　FAX 0957-55-4661



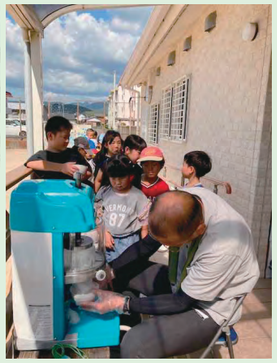
放課後児童クラブ

b&g おおむら　b&gプラス+

新年度スタート（b＆gプラス）

b＆gプラスでは、高学年のみんなが放課後を有意義に過ごせるよう、月曜は習字、水曜はそろばん、金曜は絵画と、曜日ごとに違う活動を行っています（16時～17時）。習字では、シートを敷いて準備を整え、まだ少しぎこちないながらも筆づかいを練習中。そろばんでは、大算盤を前に指の動かし方を確かめながら一生懸命取り組んでいます。絵画では、5B鉛筆を使ってリンゴのデッサンに挑戦し、描き終えたリンゴをうれしそうに味わう姿も見られました。どの活動でも、子どもたちが少しずつできることを増やしながら、楽しそうに過ごしています。お近くに小学校５・６年生のお子さんがいらっしゃれば、ぜひｂ＆ｇプラスの取り組みをのぞいてみてください。

新年度スタート（b＆gおおむら）



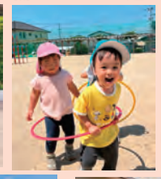
b＆gおおむらは、この春に大きな変化を迎えました。これまで６年生までの利用を４年生までとし、１年から４年生となり、本年度の新１年生を２２人迎えることが出来ました。４月初めには、池田湖公園へ歓迎遠足に行き親睦を深め、日差しが強くなって５月には多くの小学校が運動会があり、振替休日にはプラスの子ども達と一緒に逃走中を行いました。その日は、これまでの期間頑張ってきた子ども達に、夏の定番おやつ！かき氷で元気を取り戻し楽しい時間を過ごしました。これからも、子ども達と一緒に色々なイベントを考え・意見を交わし沢山の経験を積み、チャレンジし心も体も成長・前進していけたらと思っています。

認定こども園 キッズランド　～こどもたちの日常～

令和8年度が始まりました。子どもたちの元気な声が響いています♪
そんな子どもたちの様子をお届けしたいと思います！

5月からは子どもたちが大好きなリトミックが始まりました。体操服を着て、のびのびと体を動かしています。汗をかきながら全力で楽しむ子どもたちです✨

園庭では遊具で遊んだり、虫を捕まえたりして遊んでいます✨



アヒルや時計などを体全体で表現しながら、音楽に合わせて楽しく活動しています。
他のクラスがするときは「頑張れ！」と手を叩きながら応援する姿も見られ、みんなで活動する楽しさを感じています。

お部屋の中では新聞紙遊びや粘土遊びなども楽しんでいます。
新聞紙をちぎったりつなげたり、粘土の感触を楽しんだりいろいろな形にしてみたりと、集中して取り組んでいます。

児童養護施設 大村子供の家　～ おしごと探検隊・ペイント体験 ～

～おしごと探検隊～

5月31日に長崎出島ロータリークラブ様主催の【おしごと探検隊】に参加しました。
当日は建設、アロマ、ホテル、薬局、IT、福祉の６つの分野で活躍されている方から、仕事内容や仕事への思いを伺いました。午前中は、スライドを用いた分かりやすい説明を受け、それぞれの職業が社会の中で果たしている役割について学ぶことができました。また、午後は各ブースに分かれて実際に業務を体験させていただきました。
塗り薬の調合、アロマオイルのテイスティング、タイルを使った写真立て作り、車いす体験などを行い、子供たちは真剣な表情で取り組んでいました。
今回の体験を通して、働くことへの理解が深まり、将来の進路や職業選択を考えるきっかけとなったとても貴重な一日となりました。

～ペイント体験～

6月6日にアフリカンペイントアーティストのSHOGENさんが来訪され、体育館の壁面に絵を描くイベントが行われました。
壁の両面をそれぞれ「花と虫」「海の生き物」のテーマにし、子供たちが筆や手を使って自由に絵を描きました。一人一人が思い思いの色や形で表現した壁画は、子どもたちの豊かな発想や個性があふれる、カラフルで生き生きとした作品となりました。
みんなで協力して一つの作品を作り上げる喜びを味わうとともに、表現することの楽しさを実感できる貴重な機会となりました。

小規模保育園 キッズホーム

4月、新しい園舎での新年スタート！
はじめは新入園児さんも在園児さんも不安げな表情でしたが、すぐに笑顔で遊んでくれるようになりました♪
それぞれの年齢で楽しいあそびが展開されてみんな元気いっぱい！
笑い声が絶えない毎日です★

6月、玉ねぎ堀りに出掛けた2歳児クラスのお友達★
大事に育ててもらった玉ねぎを力いっぱい引っこ抜き、その大きさに感動！
この体験を夏野菜育てに活かすぞぅ♪

5月、職員手作りのこいのぼりが登場!!みんな大喜びでまたがってパチリ★
楽しい子どもの日シーズンを過ごすことができました♪
みんな1年間元気に過ごせますように！

キッズホームでは一時預かりに加え、誰でも通園制度を開始します。
詳しくは大村市にお問合せください♪

放課後等デイサービス nicoステップ

新しい遊具（スウィング）が届き子ども達の楽しそうな声が響いています。学校から帰宅したら、スケジュール確認をし、宿題を終わらせおやつを選びます。その後は好きな事をして遊んだり、お友達と活動したりします。
ｎｉｃｏステップでは自分で決めるということや、「できた」を感じられる機会を大切にしていきたいと思っています。夏休みは水遊びや泡遊び、バスに乗っての外出、お菓子作りを計画しています。

スケジュール

スウィング

おやつえらび

活動の一例

随時見学受け付けております※利用には受給者証が必要です